

猛暑の夏、浦山ダム見学で新発見

水の週間イベントとして、浦山^{うらやま}ダム見学会を8月5日（日）に開催しました。

今年も共催団体である秩父^{ちちぶ}広域市町村圏組合水道局や荒川商工会のご協力をいただき、ダムの天端^{てんば}利用した各種出店などがあったほか、普段は入ることがないダム管理用通路（監査廊）の見学、協力団体の東京発電株式会社による浦山ダム発電所の説明、浦山ダムスタンプラリーや皆野高校のイノシカバーガー販売などを行い、約500名の方々にご来場いただき、水の大切さやダムの持つ新たな魅力を発見する貴重な機会となりました。

浦山ダムは「地域に開かれたダム」としての特性を活かし、今後も地域の活性化に貢献できるよう取り組んでまいります。



ダムの役割について学習中(ダム内部見学)



ダムの模型で仕組みを勉強(ダム内部見学)



普段入れない監査廊を見学(ダム内見学)



選択取水設備棟を一般開放



浦山ダム発電所の説明(東京発電株)



水道水PRでかき氷を無料配布
(秩父広域市町村圏組合水道局)



中津芋とところてん販売(荒川商工会)
イノシカバーガー販売(皆野高校)



スタンプラリー参加の家族をプチ案内



受付は全て当日先着順で実施、アンケートも行い、ダム缶バッジなど記念品を配布
(ダム内部見学 133 名、団体見学約 100 名、スタンプラリー 175 名、アンケート約 250 名)

